

IVRセンター

■築山 俊毅 IVRセンター部長

日本医学放射線学会専門医, 日本IVR学会専門医,
乳がん検診読影認定医

概況

2011年10月から稼働しているIVR-CT systemにより、より安全かつ緻密な治療が可能となり、肝細胞癌の治療の際にはCTAPとDynaCTの撮影が標準となった。

またIVR-CT室にてCTガイド下生検やドレナージが行えるようになったことにより、緊急の手技の要請により迅速な対応が可能となった。

当科で施行するIVRの全てが同装置に集約されたため、手技時間の自由度が増し、IVR施行件数も伸ばすことが可能となるはずであったが、これまでと同様、人員の不足があり、年間を通じてフル稼働することはかなわなかった。

一方で関連他施設でのIVR施行件数は順調に伸びており、今後も継続して注力していく。

今後の展望であるが、IVR-CT systemを充分にいかした高度のIVR施行ならびにIVR施行件数の更なる増加を目指していく。また協力していただいている看護師や技師の教育にも注力し、より魅力のある職場を目指していきたい。看護師についてはIVR認定専門看護師の資格取得も順調に達成できている。今後一層資格取得の意欲を高めていきたい。

診療実績

vascular IVR	155
肝TACE	61
肝TAI	3
(合計)	(64)
シャントPTA	0
BRT0	3
BAE	2
PSE	10
その他	76
non-vascular IVR	87

学術業績

研究会

築山俊毅：弛緩出血を併発した全前置胎盤の1例。
横須賀湘南IVR研究会，横浜，2015，1.

その他

カンファレンス

肝臓症例検討会
画像解剖症例検討会
IVR症例検討会

公開講座

あきらめない癌治療－肝臓がん